

教科	技術・家庭(家庭分野)	学年	第3学年
----	-------------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A 家族・家庭生活 2 幼児の生活と家族	10	◇幼児の心身の発達について理解することができる。 ◇幼児に対する安全の配慮を知ることができる。 ◇幼児の遊びについて理解することができる。 ◇幼児の生活について理解することができる。 ◇幼児のとりまく環境の大切さについて興味・関心を持つことができる。	○幼児の心身の発達を理解し、年齢に応じた話しかけ方や、遊びの工夫について理解している。 ○遊びの役割について理解している。 ○幼児の発達を支える家族の役割について理解している。 ○遊び道具の製作をし、完成させることができる。 ○定期考査 ○実技テスト	○幼児が興味を持ちそうな遊び道具を考え、かつ安全性を伴う玩具を工夫し、提案することができる。 ○幼児の1日の生活について考え、発達に応じた遊びを提案し、まとめることができる。	○玩具作りの計画を立て、見通しをもって製作に取り組むことができる。 ○自身の幼児期を振り返りながら、幼児にとっての適切な遊びや日常生活についてレポートとしてまとめることができる。
C 消費生活・環境 1 家庭生活と消費 2 購入・支払いと生活情報 3 消費者被害と消費者の自立 4 持続可能な社会	7	◇消費者としての自覚をもつことができる。 ◇様々な販売法や支払い方法について知る。 ◇消費者トラブルについて理解し、解決方法を知る。 ◇消費者の権利と責任について知る。	○身近な販売方法の利点と問題点について理解することができる。 ○消費者トラブルの種類と解決法を理解することができる。 ○定期考査	○消費者として、よい良い生活を送るために考え、用途に応じた適切な選択をし、購入や活用方法を提案することができる。	○消費生活についての情報を収集・整理し、自身の消費生活の中で実践することができる。 ○自身の実践を踏まえ、より良い消費生活をプレゼンテーションすることができる。